

令和6年度 上伊那圏域地域自立支援協議会第2回全体会 次第

日時：令和7年3月26日（水）

10時から

場所：伊那市福祉まちづくりセンター

3階 1～3研修室

（zoomにてハイブリッド開催）

1 開 会

2 挨拶

3 協議事項

（1）令和6年度 自立支援協議会活動報告
取組管理シートの進捗状況

資料1

資料2

（2）県自立支援協議会への圏域課題提出について

資料3

4 質議応答

5 学習会

「親なきあとを考える～強度行動障がい者の地域移行についての取り組み発表～」

資料4

※「資料4」は終了後回収します。

6 閉会

【令和6年度 地域自立支援協議会活動報告】

第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の施策の方向性

上伊那圏域は、中山間地であるため移動することが困難で、その支援策も限られています。
また、障害福祉サービス事業所が圏域の中央に集中しており、南北の地域に事業所が少ない状況です。
さらに、重度心身障がい者児、強度行動障がい者児及び医療的ケア児等が利用可能なサービスや保護者等がレスパイトのため利用できる短期入所等の受け入れ先が極めて少ないことも課題です。
これらの課題解決に向け、障がい者児が住み慣れた地域で、安全、安心に暮らしていけるよう、自立支援協議会を中心に地域の支援力の向上、社会資源不足の解消および人材育成に取り組んでいきます。

《運営委員会》

【令和6年度活動計画】

目 標	協議会を主導し、地域の課題解決を図る。
活動計画	<ul style="list-style-type: none">各部会から出された課題や地域の課題、情報等の周知及び解決策の検討と調整を行う。検討が必要な課題については、拠点ワーキングに検討依頼し、その後検討された項目について必要なものは課題検討を各部会に依頼する。圏域の共通の課題については、運営委員会が主導し、各部会・連絡会と連携して課題解決のための場を設ける。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	5月21日	23名	令和6年度自立支援協議会の体制について 各部会について 全体会について
第2回	10月21日	23名	取組管理シートの進捗確認について 県自立支援協議会への課題提出について
第3回	3月21日		今年度の地域自立支援協議会の活動まとめについて 取組管理シートの確認について 全体会の開催について

<活動のまとめと課題>

- 「取組管理シート」による各部会の活動の見える化を継続し、活動の進捗管理を行った。
- 県自立支援協議会へ圏域課題として1つの課題を提出した。
「障がい児のショートステイ先の確保について」（継続課題）

《拠点ワーキング》

【令和6年度活動計画】

目 標	「地域生活支援拠点」の整備をすすめ、障がい児者が地域で安心して生活できるようにする。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障がい児者への対応と地域移行の体験の場の機会・場づくりについては専門部会の取り組みを確認していく。 ・ 障がい児のショートステイのサービス不足解消について引き続き検討する。 ・ 緊急対応台帳の更新と運用状況の確認を行う。 ・ 拠点整備事業を幅広く周知する。 ・ 緊急ショートの利用があった場合、利用の状況を共有し事例の積み上げと検証を行う。 ・ 親亡き後を含む将来の生活について、本人、家族、支援者が考える機会を継続して持つ。 ・ 義務教育終了後の支援体制の充実に向けた検討については専門部会・連絡会の取り組みを確認していく。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
	5月14日	市町村実務担当者13名 事務局2名	市町村実務担当者会議参加 ・ 地域生活支援拠点等整備事業と台帳登録について説明
第1回	6月21日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中サービス支援型 GH の評価について ・ 今年度の活動について ・ 障がい児ショートステイの取り組みについて ・ 緊急対応台帳の動きと上伊那圏域の地域生活支援拠点等整備事業手引きについて
第2回	8月22日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西駒郷強度行動障がい専用棟「すずらん」の説明・見学 ・ 強度行動障がい者の地域移行について ・ 日中サービス支援型グループホームの評価の報告 ・ 障がい児ショートステイ不足（医ケア児）について
第3回	10月21日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組管理シートの進捗状況について ・ 県自立支援協議会への課題提出について
	11月1日	市町村実務者10名 事務局2名	地域生活支援拠点等整備事業に関する打ち合わせ会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急対応台帳登録候補者について ・ 緊急ショートステイ運用について
第4回	12月26日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児ショートステイ不足について進捗報告 ・ 緊急ショートステイの利用について検証 ・ 地域生活支援拠点等整備事業に関する打ち合わせ会の報告 ・ 緊急対応台帳登録の進捗状況

第5回	2月19日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点の取り組みについて ・R7年度日中サービス支援型グループホームの評価の実施について ・今年度の活動報告と来年度の活動について ・メーリングリストによる情報共有について
-----	-------	-----	---

＜活動のまとめと課題＞

- ・障がい児ショートステイについて今年度は医ケア児に焦点をあて、医療型ショートステイの指定を受けている病院や事業所を訪問した。現状把握や窓口の確認をし、窓口については市町村にも共有を行った。
- ・日中サービス支援型グループホームの評価を初めて実施した。今後、実施方法等の検討を行う。
- ・緊急ショートステイについては利用後の検証を継続する。
- ・西駒郷強度行動障がい者専用棟「すずらん」を見学し、すずらんの機能を共有した。
- ・全体会の中で親なき後に関する学習会を実施し、地域移行について取り上げた。

《就業支援部会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用に取り組む企業や就労支援機関との連携強化を図る。 ・関係機関の取り組みを共有し、就労支援力の向上を図る。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回開催する。 ・企業における障がい者雇用の取り組みを知る機会を作る。 ・就職した在職者の声を聞く機会を作る。 ・就労支援事業所から一般就労への移行について勉強会を実施する。 ・「就労選択支援」について、ワーキンググループにてモデルケースの検証と圏域内の実施検討を行う。 ・圏域内の高等学校に向けて、就労支援機関資源表を作成し、周知活動を行う。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
資源表	6月1日		令和6年度版就労支援機関資源表を発行
	6月17日		ハローワーク伊那主催「第1回高等学校進路指導担当者会議」にて資源表の説明、配付
第1回	7月9日	集合36名 YouTube13名	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の障がい者雇用の取り組みについて（発表） ・就労支援機関の資源表について
第1回 ワーキング	7月9日	12名	<ul style="list-style-type: none"> 「就労選択支援」ワーキンググループ ・今年度の活動について ・意見交換
第2回	10月10日	集合37名 YouTube13名	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉就労から一般就労へつなげていく際のポイントについて（発表） ・グループワーク

第3回	12月5日	集合50名 YouTube18名	・就労系障害福祉サービスについての勉強会 講師：長野県伊那保健福祉事務所 (第4回相談支援専門員連絡会と合同開催)
第2回 ワーキング	2月20日	16名	「就労選択支援」ワーキンググループ ・モデルケース検証報告と、厚労省から出ている指針の確認 ・意見交換
第4回	3月6日	集合38名 YouTube8名	・今年度の活動報告 ・「就労選択支援」モデルケース検証報告 ・グループワーク

<活動のまとめと課題>

- ・企業の取り組み発表によって、企業での配慮や採用のポイントを知る機会となった。
- ・支援者が福祉就労から一般就労への流れを理解することにより、支援力の向上につながる機会となった。
- ・企業、福祉、行政、教育、医療と様々な立場の方が集まったグループワークが好評だった。次年度は具体的な事例検討などを取り入れていきたい。
- ・就労支援機関資源表を改訂し、上伊那8市町村、上伊那圏域の高等学校、特別支援学校へ配布した。
- ・「就労選択支援」モデルケース検証を実施し、ワーキンググループで課題の整理と情報共有を行った。次年度もワーキンググループを継続し、圏域としての役割について検討していく。
- ・ワーキンググループで就労支援事業所の就職件数調査を実施した。次年度は実績のある事業所へ事業所申請の働きかけをしていきたい。

《精神障がい者等地域生活部会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者が、その人らしく地域で暮すことが出来るよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を目指す。 ・共生社会を目指して多職種が協働する支援体制づくりを行う。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年3～4回の部会を開催する。 ・こころの健康や精神保健福祉について考えるきっかけづくりのため、高校生を対象に出前講座を年4回開催する。 ・地域生活支援拠点整備事業を進めるため「体験の機会や場の確保」について、一人暮らしの体験ができる資源を把握する。 ・介護、医療、福祉分野の顔の見える関係づくりのため研修会を実施する。 ・にも包括について理解促進を行う。 ・ピアサポーターの活動について共有する。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	6月20日	集合 20名 Web 14名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度活動計画 ・講義「訪問看護ステーションの説明と現状」 ・グループワーク
研修会	9月10日	23名	精神障がい者地域生活支援研修会（伊那保健福祉事務所と共催） 「高齢精神障がい者の地域移行・地域定着について」 場所：特別養護老人ホームコンソール大芝
出前講座	9月18日	高校生 17名 当事者 5名 事務局 7名	辰野高校3年生対象 精神障がいに関して理解を深めるための講座
ヒアリング	9月～12月	市町村・施設 8ヶ所対象	“体験の機会、場の確保について” 地域資源充足のアンケートを基にヒアリング実施
第2回	10月24日	42名	障がい者グループホーム従事者を対象 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの特性・関わり方について ・グループワーク
出前講座	12月12日	高校生 14名 当事者 5名 事務局 10名	高遠高校1年生対象 精神障がいに関して理解を深めるための講座
出前講座	1月29日	高校生 11名 当事者 4名 事務局 9名	高遠高校1年生対象 精神障がいに関して理解を深めるための講座
情報共有	1月30日	部会員 10名 ピア団体 3名	ピア南信しあわせの種と情報共有 場所：こころの医療センター駒ヶ根
第3回	2月13日	集合 24名 Web 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動報告 ・「病院から地域へ」事例を使ったグループワーク

<活動のまとめと課題>

- ・グループホーム、介護分野との繋がりを持つ機会ができた。また、訪問看護ステーションや精神科病院の現状と関わり方について共有した。
- ・一人暮らしの体験ができる資源の把握について、市町村と障がい者施設を対象に個別訪問をした。ヒアリング結果については、地域生活支援拠点等整備ワーキンググループへ報告した。
- ・高校出前講座は定期開催できており、来年度も若年層に対して精神障がいを考える機会を提供していく。
- ・ピア南信しあわせの種と互いの活動を共有した。ピア活動には多様な選択肢があり、当事者自身が楽しみ支え合いながら活動に参加している状況が確認できた。

《こども・若者部会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・こども・若者の支援に関わる地域連携の強化を図る。 ・支援者の支援力向上と地域資源の掘り起こしを行う。 	
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回程度開催する。 ・こども・若者に関する課題を把握する。 ・3つの連絡会の活動総括を行う。 ・こども・若者に関する研修会を実施する。 	
	支援ネットワーク連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育終了後の支援体制に関する好事例の共有を図る。 ・途切れない支援体制に関する取り組みについて共有（成長ダイアリーを含む）する。 ・Q-SACCSを基に支援体制の見える化と共有を図る。
	重心・要医療的ケア連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の重心・要医療的ケア児の窓口を信大病院・こども病院と共有する。 ・保育園での受け入れに関する事例の共有を図る。 ・看護師交流会を実施し、困り感の共有と意見交換を行う。 ・福祉制度や補装具等についての研修を行う。 ・伊那養護学校のつくし懇談会等を通じて個別のニーズに応じた資源不足の確認を行い、社会資源の開拓の参考とする。
	こどもサービス連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の活用等サービスの質の向上に向けて共通認識を図るため、相談支援専門員連絡会と合同の連絡会を行う。 ・他事業所の取り組みを共有し、横のつながりの強化を図る。 ・児童のサービスに関わる制度の理解促進を目指して、保育所等訪問支援事業の研修をこども・若者部会で行う。

こども・若者部会【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	6月4日	65名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画（部会・各連絡会） ・上伊那の連携体制について ・成長ダイアリー改定について ・保育所等訪問支援の実践について ・意見交換
第2回	2月6日	66名	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 <ol style="list-style-type: none"> ①居場所支援 ②信州型フリースクール認証制度について ③信州型フリースクール活動報告 ・今年度の各連絡会の活動報告 ・意見交換

<活動のまとめと課題>

- ・自立支援協議会、上伊那特別支援教育連携協議会（かみとくれん）、発達障がい診療地域連絡会という三つの軸を基に現在の連携体制について共有を行った。
- ・成長ダイアリーについて、複数の市町村から仕様変更の希望があり、Excel 版の改定を行った。
- ・保育所等訪問支援事業について制度の学習と実践発表により、理解を深めた。
- ・フリースクールについて県の動向を知り、地域の居場所を含め活動状況について知る機会を持つことができた。質疑応答から興味関心の高さがうかがえた。
- ・不登校等の当事者に相談先など支援の情報が届かないという声があった。

支援ネットワーク連絡会【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	8月1日	32名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画 ・こども・若者部会が出された地域課題の共有 ・発達障がい地域ケアパスの作成について（グループワーク）
第2回	1月14日	33名	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 「長野県発達障がい情報・支援センターといるについて」 「発達障害の地域支援体制づくりと住民への啓発」 ・地域ケアパスの取り組み状況の共有（発表） ・義務教育終了後のつなぎ、高校転退学後の動向についての情報共有 ・来年度の内容についての意見交換

<活動のまとめと課題>

- ・各市町村で作成した Q-SACCS（支援者向けの地域支援体制分析ツール）を基に、一般公開用資料である地域ケアパスの作成に向けた研修と取り組みの共有を行った。スムーズに支援につながるための取り組みを引き続き検討していく。
- ・高校・通信制高校卒業後の社会適応について意見交換し、高校生年代の各市町村の相談担当課の確認と、市町村が作成した相談窓口のチラシを共有した。担当課については継続して関係者への周知が必要。
- ・養護学校への通学について意見交換を行った。通学については関係する支援者が互いに意識して相談・調整を行う必要性を確認した。

重心・要医療的ケア連絡会【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
	6月21日	役員 事務局	伊那養護学校『つくし市町村懇談会』に参加し、重心・要医療的ケアに関する課題を共有した。
第1回	8月9日	23名	看護師交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・学校における医療的ケアについて ・看護師の業務内容を紹介(10事業所)

第2回	10月18日	36名	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域の要医療的ケア児実態調査(市町村連絡会)について ・要医療的ケア児の保育園入園準備について ・福祉制度と福祉用具について ・入浴の資源不足について
	12月19日	役員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那医療生協 看護小規模多機能へ訪問 現場職員向けに入浴の資源不足について説明

<活動のまとめと課題>

- ・伊那養護学校『つくし市町村懇談会』に参加し、医療的ケア児の通学支援や入浴の資源不足について課題を確認した。
- ・入浴設備のある事業所と意見交換を行い、前向きな検討をはじめた事業所があった。
- ・訪問入浴サービスについては、事業所は利用可能な状況であるが、市町村の支給量の限界と現場のニーズが合わないという課題がある。
- ・看護師交流会では日々の悩みなど共有した。小児看護の経験不足や学ぶ機会がないという課題があった。
- ・保育園入園準備の流れと福祉制度や補装具申請について学んだ。受け入れ準備に時間がかかるため、早期から入園の意志を確認していく必要があることを確認した。

こどもサービス連絡会【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	7月1日	28名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画 ・各事業所紹介 ・学習支援について「発達障害による認知特性がもたらす学習のつまずき」 講師：療育学習総合支援教室ステージアイ
第2回	10月29日	64名	<ul style="list-style-type: none"> ・「感覚の統合ってなに？」 講師：上伊那生協病院 ・課題共有・意見交換 連携、サービス等利用計画の扱い、個別支援計画について (第3回相談支援専門員連絡会と合同開催)

<活動のまとめと課題>

- ・学習支援について講義をうけ、認知特性の視点を学んだ。
- ・事業所の紹介とグループワークにより、横のつながりの強化を図った。
- ・事業所が個別支援計画に生かすため、発達支援の5領域の中の感覚統合について学習し、理解を深めた。
- ・報酬改定に対する研修のニーズが確認できた。

《権利擁護部会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者の権利に対する意識を高める。 ・障がいのある人も共に生きる社会を目指す。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回開催する。 ・事例検討を行い、事例集に追加する。 ・当事者の声を聞き、合理的配慮や権利擁護の意識を高める。 ・虐待防止研修会を開催する。 ・他分野との研修や意見交換を行う。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	6月11日	33名	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の活動報告、今年度の活動計画について ・事例検討（意思決定支援、8050問題）
第2回	9月19日	41名	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震の実際の様子、福祉避難所の現状や機能について（発表） ・グループワーク
虐待防止 研修	10月26日	80名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「弱さを愛せる社会へ」 （相談支援事業所 naKara と共催）
第3回	11月21日	32名	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士さんと話そう～権利擁護と後見人について～ ・グループワーク
第4回	2月28日	37名	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで一緒に考えよう！個別避難計画について ～当事者の話を聞き、現状や課題を話し合う～

<活動のまとめと課題>

- ・異業種との意見交換会では、弁護士4名が参加し、お互いを知る第一歩になった。
- ・当事者や危機管理担当課、福祉課、事業所が集まり、福祉避難所の現状について共有し、本人の特性に合わせた支援について、アイデアを出し合うことができた。災害時に人の確保をどうするのか、避難所として受け入れ体制がとれるのか課題が上がった。今後も当事者に部会への参加を積極的に働きかけ、当事者の意見を反映させていきたい。
- ・虐待防止研修については、来年度も継続していく。

《相談支援専門員連絡会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談支援専門員と顔の見える関係作りを行う。 ・相談支援専門員のスキルアップを図り、相談支援体制の強化を目指す。 ・地域の社会資源の情報収集を行う。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回開催する。 ・グループスーパービジョンや事業所見学会を行う。 ・他部会との合同研修を行い、情報共有と連携の機会とする。 ・地域の資源の情報収集と発信を行う。「障がい児のショートステイ」については拠点WGからの検討依頼があれば実施する。 ・相談支援専門員連絡会新聞を発行する。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	6月10日	31名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画について ・グループスーパービジョン ・事業所紹介
事業所見学会①	7月2日	9名	生活介護事業所見学3ヶ所 「駒ヶ根市デイサービスセンター大原こだま園」「宅幼老所 わが家」「親愛の里 夢工房」
研修	8月5日	33名 (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援に関わる報酬改定合同研修 講師：相談支援事業所 naKara (人材育成検討委員会と合同開催)
第2回	8月20日	23名	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画と個別支援計画の関係と連携 講師：一般社団法人地の会 アップ☆わーく <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク
第3回	10月29日	64名	<ul style="list-style-type: none"> ・「感覚の統合ってなに？」 講師：上伊那生協病院 <ul style="list-style-type: none"> ・課題共有・意見交換 (第2回子どもサービス連絡会と合同開催)
第4回	12月5日	集合50名 YouTube18名	<ul style="list-style-type: none"> ・就労系障害福祉サービスについての勉強会 講師：長野県伊那保健福祉事務所 (第3回就業支援部会と合同開催)
事業所見学会②	1月10日	10名	グループホーム見学3ヶ所 「グループホーム フォレスト」「ソーシャルインクルーホーム長野箕輪町」「まゆっこ」
第5回	2月5日	28名	<ul style="list-style-type: none"> ・グループスーパービジョン ・グループワーク (今年度振り返り・次年度について)

<活動のまとめと課題>

- ・ こどもサービス連絡会や就業支援部会と合同で学習会や意見交換を行い、相互理解や連携を深めた。
- ・ グループスーパービジョンを年2回実施し、様々な視点からアドバイスをもらい気づき等得られる機会を持てた。
- ・ 今年度4月に報酬改定があり、学習会の要望も多かったため、報酬改定について学ぶ機会を持った。
- ・ 相談支援専門員は幅広く連携することが求められるため、来年度も他部会等と共に学び意見交換をする機会を作っていきたい。

《人材育成検討委員会》

【令和6年度活動計画】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成を行い、地域の支援力の強化を図る。 ・ 地域の相談支援体制の定着を図る。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援従事者初任者研修・相談支援従事者現任研修の「圏域実地研修」（圏域インターバル）を実施し、地域を基盤としたソーシャルワーカーの育成と人材育成を担う圏域のリーダーとなる人材の育成を行う。 ・ 主任相談支援専門員の活動を推進するため、主任相談支援専門員の活動をバックアップする。 ・ 「市町村担当者向け研修」「強度行動障がい児・者への支援者研修」「相談支援のスキルアップ研修」等の研修を実施する。

【令和6年度活動報告】

	開催日	出席者	内容
第1回	4月24日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の活動内容の確認確認 ・ 主任相談支援専門員の圏域内事業所訪問について ・ 相談支援従事者研修の研修指導者について ・ 研修計画について
研修	8月5日	33名 (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援に関する報酬改定 合同研修会（相談支援スキルアップ研修） 講師：相談支援事業所 naKara
研修	①8月7日 ②9月11日	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援従事者初任者研修 講義および個別スーパービジョン
第2回	9月11日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任相談支援専門員の圏域推薦について ・ 初任者研修の振り返り ・ 現任研修の実地研修の実施について ・ 研修計画の進捗状況等の確認 ・ 主任相談支援専門員による相談会の開催について ・ 主任相談支援専門員の圏域内事業所訪問について

研修	①10月31日 ②12月3日	17名	・相談支援従事者現任研修 講義および個別スーパービジョン
第3回	12月3日	10名	・現任研修の振り返り ・研修計画の進捗状況等の確認 ・主任相談支援専門員の事業所訪問の報告 ・主任相談支援専門員配置加算について
研修	2月18日	1部14事業所 2部11事業所	西駒郷実践報告会 第1部 強度行動障がい者支援の部 第2部 地域生活支援の部 (西駒郷と共催)
第4回	3月3日	9名	・今年度の活動のまとめ ・次年度の活動について
事業所訪問	①7月29日 ②10月25日 ③1月8日 ④3月3日	①4名 ②1名 ③1名 ④1名	①相談支援事業所みなみみのわ ②大萱の里 ③パンセの会 ④辰野町社会福祉協議会
相談会	①1月21日 ②1月30日	①4名 ②2名	「おしゃべりカフェ」開催 ①西駒郷 ②きらりあ

<活動のまとめと課題>

- ・相談支援従事者研修の「初任者研修・現任研修」については、主任相談支援専門員を中心に研修指導者、圏域の現地研修の講師等を担い、圏域の相談支援専門員の人材育成を図るとともに、圏域のリーダーを育成した。来年度も継続して実施する。
- ・昨年から引き続き、主任相談支援専門員を中心として圏域内の特定相談支援事業所への訪問を行い相談支援事業所のスキルアップと顔の見える関係作りができた。また、今年度は気軽に話や相談ができる場として「おしゃべりカフェ」も開催した。次年度以降も継続し、効果の検証を行いながら、地域の事業所をバックアップする体制づくりを進める。
- ・今年度は「市町村担当者研修」が実施できなかった。次年度に向けて実施スケジュールを見直し、引き続き圏域に必要な研修を行う。

《市町村連絡会》

【令和6年度活動計画】

目 標	市町村間の連絡調整、情報共有
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談事業所の委託に関しての内容や役割について、委託者として確認していく。 ・障がい児ショートステイサービス不足の解消に向けた検討。 ・義務教育終了後の支援体制について検討。 ・地域生活支援拠点緊急対応台帳登録者の整備について検討。

	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の状況確認・共有を行う。 ・実務担当者会を定期的に行う。 ・課題に応じ、関係団体との情報交換の機会を設ける。 ・その他の新たな課題等が発生した場合は、必要に応じ随時連絡会を開催する。
--	---

【令和6年度活動報告】

		開催日	出席者	内容
市町 村連 絡会	第1回	4月15日	13名（市町村 8名）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組み・検討事項について ・専門部会等担当の体制について
	第2回	8月15日	6名（市町村 6名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ受け入れ事業所のサービス終了に伴う緊急対応について ・ショートステイ事業所不足に係る中長期的課題と取り組みについて
	第3回	10月11日	10名（市町村 8名）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の状況確認、共有と課題等について ・義務教育終了後の支援について ・障がい児ショートステイ不足解消について
	第4回	1月23日	8名（市町村 8名）	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急ショートステイに係る対応の明確化について ・義務教育終了後の支援について ・障がい児ショートステイ不足解消に係る進捗状況について ・上伊那圏域の地域資源公表に係る自立支援協議会HPへの各市町村情報のリンクについて
実務 担 当 者 会 議	第1回 ～5回	5月14日 7月16日 9月17日 11月12日 1月21日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービス、地域生活支援事業、支援会議、事務手続き等について、各市町村で現状等の把握や情報共有を行った。

<活動のまとめと課題>

- ・必要に応じて連絡会を開催した。実務担当者会議を定期的に行った（年5回）。
- ・ショートステイ受け入れ事業所のサービス終了に伴う緊急対応や、ショートステイ事業所不足に対する中長期的な課題と取り組みについて検討し、拠点ワーキンググループと共有した。
- ・義務教育終了後の支援体制等について、各市町村の体制や取り組みについて共有を行い、課を超えた連携や継続した支援の必要性等について検討を行った。
- ・各市町村の医療的ケア児の状況確認と共有を行った。また、状況を踏まえながら障がい児ショートステイ不足の解消に向け、拠点ワーキンググループと共に医療型ショートステイ指定事業所を訪問し現状把握を行い共有した。今後、障がい児ショートステイについては、事例の共有を図っていきたい。

令和6年度 上伊那圏域地域自立支援協議会 取組管理シート

令和7年3月24日現在

部会・連絡会・グループ名	昨年度の課題	今年度取り組みたい内容	進捗状況を記入(10月)	進まない要因分析	今年度の達成状況(年度末)	部会として来年度検討すること	運営委員会等で検討して欲しい内容
地域生活支援拠点等整備ワーキンググループ(拠点WG)	・緊急ショート後の事例の積み上げと検証。	・緊急ショートの利用があった場合、利用の状況を共有し事例の積み上げをするとともに、運用面の点検・見直しを行う。	・前期1件の緊急ショートの利用があった。報告があり次第検証を行う。		・市町村実務担当者に向けた「地域生活支援拠点等整備事業に関する打ち合わせ会(11/1)」にて台帳や緊急ショート運用について意見交換。 ・第4回(12/26)にて2件の緊急ショートについて検証。また打ち合わせ会に出た意見を共有。	・市町村実務担当者との意見交換や事例の積み上げを継続。 ・拠点等整備事業の登録事業所の役割の確認。	
	・体験の機会・場づくりについて部会の取り組み状況を確認する。	・精神障がい者等地域生活部会に依頼した体験の機会・場の確保について課題が明確になったうえで協議を進めていく。	・精神障がい者等地域生活部会より報告待ち。		・第5回(2/19)に体験の機会の場の確保についての報告を受けた。	・終了 必要に応じて検討の機会を持つ。	
	・重度障がい児者への対応について部会の取り組み状況を確認する。	・こども・若者部会に依頼した、重心・要医療的ケア児者の個別事例の積み上げと課題解決方法の共有を行う。	・こども・若者部会より報告待ち。		・第4回(12/26)重心・要医療的ケア児の入浴について報告を受けた。	・継続。	
	・障がい児のショートステイ不足について個別ニーズの把握を行う。	・ニーズの洗い出し、他圏域の状況確認を市町村連絡会と共同で実施。	・圏域内の医ケア児ショートステイ受け入れ事業所のサービス終了についての課題を共有した。今後事業所に受け入れの働きかけを行う予定。		・医ケア児のショートステイについて医療型SSの指定がある事業所を現状把握のため訪問。 医師会事務局(12/18)、辰野病院(12/23)、生協病院・はびろの里(12/25)、フラワーハイツ(2/3)、昭和伊南病院(2/6)、花の道(2/17電話)。窓口を確認し市町村と共有。	・事例があった場合に情報の共有を行う。	
		・強度行動障がい児者への対応や行動障がい予防についての研修会を実施する。	・研修については西駒郷と調整中。		・2/18西駒郷と合同で実践報告会を開催。	・継続	
		・「親亡き後」について本人・家族・支援者が考える機会を継続して持つ。	・検討中。		・全体会にて強度行動障がい者の地域生活の事例発表。	・今後も様々な視点から学習会を実施。	
	・台帳作成対象者について検討する。	・緊急対応台帳登録対象者の更新と運用状況の確認を行う。	・各市町村の登録候補者の確認および実務担当者との擦り合わせを実施予定。		・各市町村の登録候補者を確認し、登録を検討。	・継続	
		・療育等連絡会(現:支援ネットワーク連絡会)の提案書を基に、市町村連絡会が検討する、義務教育終了後の支援について共有を図る。	・市町村連絡会にて検討中。		・第5回(2/19)にて共有。	・市町村連絡会で継続。	
就業支援部会	・「就労選択支援」についての情報共有及び検討。	・モデルケースを通して圏域内の実施検討を行う。	・伊那養護学校の生徒3名対象にモデルケース実施中。今後課題等の吸い上げを行う。		・「就労選択支援」ワーキンググループを2回実施。モデルケースを3例を検証し、第3回運営委員会(3/21)に報告。 ・上伊那圏域の就労支援事業所の就職者件数調査を実施。	・「就労選択支援」ワーキンググループを継続し、実施に向けて協議する。 ・就職者の実績をあげている事業所と情報共有する。	
	・一般就労への支援方法を共有する。	・企業における障がい者雇用の取り組みを知る機会を作る。 ・就労支援事業所から一般就労へ支援する流れについて勉強会を実施する。 ・就職した在职者の声を聞く機会を設ける。	・第1回部会(7/9)にて実施。株式会社エビデントによる障がい者雇用についての取り組み発表。 ・第2回部会(10/10)にて実施予定。		・実施済み。 ・第2回部会にて就労支援事業所からの取り組み発表を実施。 ・第3回(12/5)は相談支援専門員連絡会と合同で報酬改定勉強会を実施。	・事例検討の機会をもつ。 ・報酬加算および障害者雇用制度の学習会を、年一回実施。	
	・地域資源の検討・体験の機会・場を考える。 ・地域資源の不足や埋もれている資源の確認を行う。	・「体験の機会や場の確保」について、一人暮らしの体験ができる資源の把握を行う。	・9~10月にかけて上伊那圏域の市町村・施設訪問を実施。聞き取りをまとめ拠点WGへ報告する予定。		・市町村と障がい者施設8ヶ所を対象に個別訪問し、拠点WGへ報告。	・拠点WGから検討依頼あった際に対応。	
精神障がい者等地域生活部会	・介護・医療・福祉分野の顔の見える関係づくりを行う。 ・地域移行、地域定着、自立生活援助についての理解を深める。	・精神障がい者の地域移行・地域定着支援体制の整備推進のため特別養護老人ホームで研修会を開催する。 ・にも包括についての理解推進を行う。 ・グループホームの横のつながりを持つ。 ・多職種協働をテーマに訪問看護ステーションの役割や実情を共有する。	・第1回部会(6/20)にて訪問看護ステーションの説明と現状について講義。 ・高齢精神障がい者の支援について研修会を実施。(9/10伊那保健福祉事務所と共催) ・第2回部会(10/24)はグループホームの従事者を対象に、発達障がいについての理解を深めること及び情報交換を行う予定。		・にも包括を意識した多職種連携をテーマにさまざまな活動を実施。 ・第3回(2/13)では病院からの地域移行のケースをもとにグループワークを実施。	・引き続き多職種が参加できる内容を検討。	

部会・連絡会・グループ名	昨年度の課題	今年度取り組みたい内容	進捗状況を記入（10月）	進まない要因分析	今年度の達成状況（年度末）	部会として来年度検討すること	運営委員会等で検討して欲しい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターの活動継続。 出前講座の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者も含めてピアサポーターの活動を共有する。 高校生を対象とした、年4回の出前講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターの活動を共有する場を1月頃開催予定。 第1回高校出前講座（10/8）を辰野高校3年生17名対象に実施。高速高校で今後実施予定。 		<ul style="list-style-type: none"> 1/30ピア団体と活動共有を実施。 高校出前講座3回実施。福祉を学ぶ高校生と当事者と交流し学ぶ機会の場を持った。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続 	

部会・連絡会・グループ名	昨年度の課題	今年度取り組みたい内容	進捗状況を記入(10月)	進まない要因分析	今年度の達成状況(年度末)	部会として来年度検討すること	運営委員会等で検討して欲しい内容
こども・若者部会		・こども・若者に関する地域課題の吸い上げ、整理を行う。	・保育所等訪問支援事業についての制度理解が十分でないとの声を受け、第1回部会(6/4)にて制度説明と事例発表を実施。(65名参加)		・実施済み。	・継続	
		・3つの連絡会の活動総括を行う。	・第2回部会(2/6)にて実施予定。		・実施済み。	・継続	
		・障がい児のショートステイについて拠点WGの取り組みを共有する。	・拠点WGの検討に協力。		・事務局、役員で拠点ワーキングの取り組みについて共有。	・好事例の吸い上げと共有。	
	・広く研修への参加を呼び掛ける。	・こども・若者に関する研修を実施する。	・研修について第1回部会(6/4)にて実施。今後連絡会(10/29)にて実施予定。		・第1回部会(6/4)にて保育所等訪問支援についての研修を実施 ・第1回こどもサービス連絡会(7/1)にて発達障がいと学習のつまずきについて、第2回(10/29)にて感覚統合についての研修を実施。 ・第2回支援ネットワーク連絡会(1/14)にて地域ケアパスについての研修を実施	・地域の実情や課題、ニーズ等に合わせて実施内容を検討。	
支援ネットワーク連絡会	・義務教育終了後の支援体制の検討の継続。	・市町村連絡会と協働し、義務教育終了後の支援体制に関する好事例の共有を図る。	・市町村の検討待ち。		・第1回連絡会(8/1)にて課題共有と意見交換。 ・第2回連絡会(1/14)にて高校生年代の市町村相談窓口とその周知について共有。	・地域資源情報や好事例の取り組みについて共有する。	
		・途切れない支援体制に関する取り組みについて共有(成長ダイアリーを含む)する。 ・支援体制の見える化と共有を図る。	・成長ダイアリーを活用しやすいように修正。(HPアップ済み) ・第1回連絡会(8/1)にてQ-SACCSを基に地域ケアパス作成を依頼。(32名参加)第2回連絡会(1/14)にて共有予定。		・成長ダイアリーExcel版を活用しやすく改訂・周知を実施。 ・第2回連絡会(1/14)にて地域ケアパスについての研修、取り組み発表。		
重心・要医療的ケア連絡会	・令和5年度の市町村の実態調査結果の共有。	・令和5年度の市町村の実態調査結果の共有。	・第2回連絡会(10/18)で共有予定。		・第2回連絡会で「医療を要する状態にある障がい児」について市町村ごとの人数や医療的ケアの内容を共有した。	・実態調査が行われた際に結果を共有。	
	・社会資源の共有と状況の把握。	・重心・要医療的ケアに関する市町村等の取り組み状況を共有し必要に応じて協力していく。	・つくし懇談会に参加し、医療的ケア児の課題を確認。 ・通学支援については支援ネットワーク連絡会の議題とした。 ・ショートステイ不足については、拠点ワーキングと共有した。 ・入浴については第2回連絡会(10/18)で検討予定。 ・社会資源表について、現在各事業所に確認中。今年度中に更新予定。 ・市町村の取組については、現在検討中のため情報入手時に共有。		・第2回連絡会で「入浴」の課題について、現在困っている事例の共有。協力できそうな前向きな意見や受け入れを検討したいという事業所もあった。 ・12/19事業所訪問し、事例を基にニーズを説明。 ・社会資源表を更新。	・引き続き、社会資源不足について確認し、事業所等に協力依頼を図っていく。	
	・医ケア児の保育園入園の受け入れ調整に困難さがある。	・保育園入園までの流れや課題の共有を行う。 ・保健師向けの福祉制度や補装具等の研修会を検討する。	・第2回連絡会(10/18)にて実施予定。		・第2回連絡会で、医療的ケア児の入園について、流れや課題を共有。 ・入園の準備として、福祉制度や補装具の申請等の流れを学んだ。	—	
	・地域の看護師の交流の場がない。	地域の看護師の交流の場を設け、意見交換、課題の共有をする。	・第1回連絡会(8/9)にて看護師交流会を実施。(23名参加) ・学校における医療的ケアの構造に関する情報共有。 ・事業内容と業務内容、困り感や課題等について意見交換。		・実施済み。	・交流会の中で、学習会の開催を検討。	
	・市町村窓口一覧を更新し、こども病院、信大病院と共有する。	・市町村窓口一覧を更新し、こども病院、信大病院と共有する。	・5月共有済み。		・実施済み。	・継続	
こどもサービス連絡会	・事業所の課題やニーズに応じて検討を行う。	・各事業所の取組の共有と意見交換を行う。	・第1回連絡会(7/1)にて各事業所紹介とグループワークを実施。 ・第2回連絡会(10/29)は相談支援専門員連絡会との合同連絡会		・第2回連絡会において、相談支援専門員とスムーズな連携について、グループワークを実施。	・相談支援専門員連絡会との合同開催を検討。	
	・研修会の開催を検討する。	・制度の理解とサービスの質の向上のため勉強会を開催する。	・第2回連絡会(10/29)は相談支援専門員連絡会との合同で、発達特性の理解を深める「感覚統合の理解」の研修		・第1回こどもサービス連絡会(7/1)にて発達障がいと学習のつまずきについて、第2回(10/29)にて感覚統合についての研修を実施。	・地域の実情や課題、ニーズ等に合わせて実施内容を検討。	

部会・連絡会・グループ名	昨年度の課題	今年度取り組みたい内容	進捗状況を記入（10月）	進まない要因分析	今年度の達成状況（年度末）	部会として来年度検討すること	運営委員会等で検討して欲しい内容
権利擁護部会	・当事者参加の研修、意見交換会の継続。	・当事者の声を聞き、合理的配慮や権利擁護の意識を高める。	・第2回部会（9/19）にて、当事者含め福祉避難所についての講義、グループワークを実施。 ・第3回部会（11/21）は、合理的配慮について異業種との意見交換予定。		・第3回にて弁護士との意見交換を実施。 ・第4回（2/28）にて個別避難計画について、当事者を交えて意見交換を実施。	・当事者も参加しやすい部会作り。 ・異業種との意見交換会の継続。	
	・事例検討、事例集の積み上げ。	・事例検討を行い、事例集の拡充を図る。	・第1回（6/11）部会にて、事例検討を実施。事例集に追加。		・実施済み。	・継続	
	・ニーズに合った研修会の企画。	・虐待防止研修会を開催する。	・虐待防止研修講演会実施予定（10/26 相談支援事業所naKaraと共催）		・実施済み。講演会「弱さを愛せる社会へ」	・他部会との合同研修を行い、様々な視点から学べる機会をもつ。	
相談支援専門員連絡会	・事例検討、グループスーパービジョンを継続的に実施することで、支援の質の向上を目指す。	・グループスーパービジョンや事業所見学会を行い、相談支援専門員のレベルアップを図る。また事業所の垣根を越えて、顔の見える関係作りを目指す。	・第1回連絡会（6/10）にてグループスーパービジョンを実施。事業所見学会（7/2）では生活介護の事業所3か所を見学した。今年度各1回実施する予定。 ・第2回連絡会（8/20）では個別支援計画との連携について講義とグループワークを実施。		・第5回連絡会（2/5）にてグループスーパービジョンを実施。 ・事業所見学会（1/10）ではGHの事業所を3ヶ所見学。	・継続	
		・他部会等と合同で研修を行い、情報共有と連携の機会とする。	・相談支援に関する報酬改定についてオンラインにて研修会を実施。（8/5 人材育成検討委員会との合同 参加者36名） ・第3回連絡会（10/29）・第4回連絡会（12/5）はそれぞれこどもサービス連絡会・就業支援部会と合同で実施予定。		・第3回連絡会（10/29）はこどもサービス連絡会と合同で、学習会やグループワークを実施。 ・第4回連絡会（12/5）では就業支援部会と合同で就労に関わる報酬改定の勉強会を実施。	・継続	
		・「障がい児のショートステイ」については、拠点ワーキングからの検討依頼があれば取り組む。	・今後必要に応じて協力していく。		・今後必要に応じて協力していく。	・継続	
人材育成検討委員会	・「実地研修（インターバル研修）」による人材育成。	・相談支援従事者研修に合わせて、実地研修を実施し、圏域のリーダー及び福祉人材の育成を図る。	・初任者研修実施済。（8/7・9/11 16名受講） ・現任研修実施予定。（10/31・12/3 17名受講予定）		・現任研修17名修了。6名の主任相談支援専門員が演習、圏域実地研修に参加。	・継続	
	・主任相談支援専門員の活動のバックアップ。	・主任相談支援専門員を中心に相談支援事業所を訪問し、相談に応じる。	・順次、事業所訪問実施中。（5事業所予定） ・主任による相談会を開催予定。（1/21・1/30）		・4事業所の訪問実施。 ・主任による相談会「おしゃべりカフェ」を開催（2回）。	・継続 ・「おしゃべりカフェ」については、開催や周知方法を再検討。	
	・研修の実施。	・市町村担当者向け研修（6月） ・強度行動障がい児者研修 ・相談支援のスキルアップの研修 ・その他各部会・連絡会からの要望により研修を企画する。	・強度行動障がい研修は西駒郷の実践研修を調整中。 相談支援に関する報酬改定についてオンラインにて研修会を実施。（8/5 相談支援専門員連絡会との合同）		・2/18実践報告会開催（西駒郷共催）。	・継続	

部会・連絡会・グループ名	昨年度の課題	今年度取り組みたい内容	進捗状況を記入（10月）	進まない要因分析	今年度の達成状況（年度末）	部会として来年度検討すること	運営委員会等で検討して欲しい内容
市町村連絡会	・障がい児ショートステイサービス不足の解消に向けて、ニーズの洗い出し、他圏域の状況を確認。	○障がい児ショートステイ不足解消に向けた検討を行う。 ・ニーズの洗い出し、他圏域の状況確認を拠点WGと共同で実施。	・ショートステイの受け入れ先不足にかかる、早急に対応すべきケースについての状況確認・課題共有及び、今後の解消に向けた進め方等について協議を行った。		・障がい児ショートステイ不足の解消に向け、拠点WGと共同して医療型ショートステイの指定がある事業所を訪問し、聞き取りにより現状把握を行い、状況等について共有。	・事例があった場合に情報を共有。	
	・引き続き、各市町村内で「ハイリスクケース」の認識と共有を図る。	○義務教育終了後の支援体制について、実態を把握しながら検討していく。	・各市町村における現状や支援体制の把握を行ったのち検討予定。		・各市町村における体制や取り組み等について共有を行い、課を超えた連携や継続した支援の必要性等について検討。	・事例があった場合に情報を共有。	
	・台帳登録者の基準について認識の統一。 ・台帳登録者の洗い出しの方法の確認。	○地域生活支援拠点緊急対応台帳登録者の登録要件見直し後の運用状況を確認する。	・緊急対応台帳登録者の基準及び緊急短期入所の運用に係る打合せを行う。（11月）		・実務担当者による意見交換を実施。 ・各市町村で登録候補者を確認し検討を実施。	・運用状況等を確認。	
		○医療的ケア児の状況確認・共有をする。	・昨年度把握した状況を基に、今年度の状況確認を行い、課題を共有し検討を行う。		・今年度の医療的ケア児の状況確認。合わせてショートステイに係るニーズを把握。	・継続	
		○実務担当者会を定期的に開催し、情報交換等を行い、内容については各市町村担当者等で必ず共有する。 ・5月、7月、9月、11月、1月の第2火曜日 年5回を予定	・5/14、7/16、9/17実務担当者会議開催。 実務を行う上での情報共有、意見交換等を行い、適切なサービス提供につなげていく。		・引き続き定期的に開催。（11/12、1/21）全5回。 ・障がい福祉サービス、地域生活支援事業、支援会議、事務手続き等について、各市町村で現状等の把握や情報共有。	・継続	
	○課題に応じ、関係団体との情報交換の機会を設ける。 ・事務局と情報共有を図り、必要に応じて連絡会を随時開催する。	・連絡会を随時開催 第1回(4/15) 本年度の取組課題確認。 第2回(8/15) 資源不足により直面している課題や各市町村の対応状況の共有、今後の進め方等について検討。 第3回(10/11) 取組課題における各市町村の状況確認と課題の検討。		・市町村連絡会を随時開催。 第4回(1/23) 緊急ショートステイに係る対応の明確化について、障がい児ショートステイ不足解消に係る状況について。	・継続		

提出日: R6年11月19日

障がい児のショートステイ先の確保について

圏域(地域)名: 上伊那

地域協議会での協議の経過			提出課題
提出部会	地域生活支援拠点等整備ワーキンググループ		<p>・課題の概要(課題の背景や考えられる圏域の状況)</p> <p>・人材不足 ・スキル不足(者の事業所で児を受け入れることへの不安) ・経営面(単価が低く、受けることで赤字になる) ・事前の情報共有(情報のない中での受け入れは利用者、事業所互いに困難)</p> <p>複合的な課題であり、課題解決の糸口が見えない。</p>
地域協議会の部会での調査、検討等の経過と内容			
R2年	10月	相談支援専門員連絡会内にワーキンググループを立ち上げ検討開始	
		特別支援学校との意見交換、市町村、相談支援事業所への聞き取り等実施	
R3年	10月	地域生活支援拠点等整備ワーキンググループ(以下「拠点WG」)へ報告書提出	
R4年	4月	上伊那圏域緊急ショートステイ促進事業(以下「促進事業」)運用開始	
R4年	11月	SS事業所、宿泊を伴う支援を行う児童関連事業所へ聞き取り実施	
R5年	4月	促進事業の対象を障がいサービス以外にも拡大	
R5年	7月	拠点WGにて、促進事業の実施内容の共有と検証(WG開催の都度実施)	
R5年	10月	相談支援専門員連絡会にて、拠点WG作成の「子ども」関連サービス集約表の共有と個別ニーズについて確認	
R6年	8月 ~10月	事業所の閉鎖に伴う課題を共有。他事業所への受け入れの働きかけを検討	
↓			<p>・長野県(全圏域)で考えるポイント</p> <p>・圏域内だけの対応には限界があるため、県内外の好事例の吸い上げと共有をお願いしたい。</p>
全体会(地域協議会・本会)での報告、検討等の経過と内容			
R4年	3月	全体会にて報告、上伊那圏域緊急ショートステイ促進事業承認	
R5年	2月	運営委員会にて聞き取り結果を報告	
R5年	3月	全体会にて報告、上伊那圏域緊急ショートステイ促進事業の対象拡大承認	
R6年	3月	全体会にて進捗状況共有	
全体会(地域協議会・本会)での長野県協議会への意見のまとめ			
<p>・子どものショートステイに関して、緊急・常時関係なく資源が不足している。事業所の閉鎖により、さらに切実な状況となっている。</p> <p>・「子ども」に関する資源を含めて検討したが、特に重度障がい児のショートステイについては受け入れ先が無いことが確認された。</p> <p>・他圏域の取り組みも参考に、引き続き出来ることを模索する。</p>			

※ 適宜行は増やして使用してください。